

# みやぎのだより

No. 107

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成30年11月27日



婦人部研修旅行

## CONTENTS

婦人部研修旅行開催	1	牛群検定～優良事例紹介～Vol.11	6
一迫・築館・瀬峰 3支部合同交流会開催	1	酪農技術シリーズ⑭	7
仙台支部視察研修会開催	2	平成30年度 生乳生産実績	9
平成30年度宮城県総合畜産共進会開催される	2	宮城県酪農動向調査について	10
平成30年度草地簡易更新事業	3	理事会通信	10
畜舎環境美化コンクール参加募集	3	売りたいし、買いたいし	11
子育て応援団すこやか2018に出展!!	4	人事のお知らせ	11
牛乳・乳製品利用料理コンクール宮城県大会	4	編集後記	11
輸入粗飼料情勢	5		

# 婦人部研修旅行の開催

指導課

9月6日～7日にかけて婦人部研修旅行を開催しました。

1日目は、栃木県日光市と中禅寺湖・奥日光を結ぶ観光道路の「第二いろは坂」を上りバスの車窓から山裾に広がる景色を楽しみました。奥日光三名瀑の華厳ノ滝・湯滝の見学では観瀑台から滝を間近で見ることができ、迫力がありマイナスイオンもたっぷりで爽快な気分になりました。

2日目は群馬県富岡市にある富岡製糸場を見学しました。富岡製糸場は日本初の本格的な器械製糸工場であり、2014年には世界文化遺産に登録されました。歴史を感じるレンガ造りの建物の中には繰糸器、揚返器などの大きな機器があり、当時の技術の高さを感じることができました。

参加者の皆さんは温泉にゆっくり浸かり、観光やおみやげを楽しみ笑いが絶えない様子でした。毎日の仕事に家事に忙しい合間をぬっての1泊2日はとても有意義な時間となったことと思います。



# 一迫・築館・瀬峰 3支部合同交流会開催

指導課

去る、9月1日(土)一迫『あいすむら』において、第18回栗原管内支部合同交流会を開催しました。前日までの雨で天候も心配されましたが、なんとかもちこたえ、照らず降らずの曇空での開催でした。18回目を迎え支部員はもちろんのこと青年部、婦人部、子供達と総勢70人からの人々で生ビール片手に焼肉・焼き鳥・焼きそば等美味しそうにほおぼりながら、子どもから大人までの大抽選会も催し盛会裏のうちに終了いたしました。

酪農家の減少の中、沢山の人々に参加していただき、この広報を通じて御礼申し上げます。ありがとうございました。



# 仙台支部視察研修会の開催

指導課

9月3日(水)に登米市米山町の(株)さくら牧場(代表取締役 伊藤洋平氏)にて仙台支部視察研修会を開催しました。

(株)さくら牧場は畜産クラスター事業の施設整備事業を活用し搾乳牛舎の建設を行い、平成28年10月から事業を開始しました。牧場の特徴でもある200頭の繋ぎ牛舎の大きさに部員は圧倒されておりましたが、代表の伊藤さんから経営の考え方、規模拡大した上での現在の課題、また今後の目標などを丁寧に説明していただき、大変刺激を受け有意義な視察研修となりました。



# 平成30年度宮城県総合畜産共進会開催される

指導課

美里町のみやぎ総合家畜市場において、9月25日(火)宮城県畜産協会主催、平成30年度宮城県総合畜産共進会、乳用牛の部が開催されました。総頭数54頭が出品され第1区から第10区に区分し審査が行われ、当組合からも乳用性に優れた牛群が多数出品されました。入賞者は以下のとおりです。



## 宮城県総合畜産共進会

	区分	名号	出品者	
名誉賞	第3区	エイトロール ベントレー ピアレス	大崎市	八巻 誠
最優秀賞	第2区 (生後12ヵ月未満)	アイスヴィレツジ アティック アリス	栗原市	(有)小山牧場
		エイトロール CDJ スターエンジェル	大崎市	八巻 誠
	第3区 (生後12ヵ月以上 16ヵ月未満)	エイトロール ベントレー ピアレス	大崎市	八巻 誠
	第5区 (生後20ヵ月以上 24ヵ月未満)	エクセレントファーム ヘグマン ドルシー スパイラル	栗原市	鈴木 義博
	第6区 (3歳未満) 後代検定娘牛	スペシャル スパイラル フロスト	栗原市	伊藤 紀彦
	第7区 (3歳未満)	ビーチフィールド トップシー シンキングブルツク	大崎市	濱田 賢志
	第8区 (3歳以上4歳未満)	エイトロール アフターシヨツク ピアレス	大崎市	八巻 誠

# 平成30年度 草地簡易更新事業

購買課

今年度の草地簡易更新事業は、震災による除染から6～7年が経過していることもあり、当初は全体で16名の参加希望がありました。7月より現地確認調査をおこない8月中旬より作業を開始する計画をたてました。

開始当初は天候に恵まれ順調に進みましたが8月下旬から秋雨前線による長雨や度重なる台風の影響から、作業は予定どおり進むことができませんでした。

最終的に9名(本所管内6名、仙南管内1名、登米管内2名)で総面積約30.4haの実績となりました。事業推進にあたり参加者、関係者の皆様にご協力をいただいたおかげで終了することができました。ありがとうございました。



# 畜舎環境美化コンクール参加募集

指導課

当組合では、昨年度に引き続き、畜舎や周辺の整備を図り、消費者に対する酪農のイメージアップを図るとともに、良質乳生産の基盤となるよう環境維持対策の一環として畜舎環境美化運動と畜舎環境美化コンクールを実施しております。

今年度も5月に婦人部の皆様のご協力をいただき、花苗を配付いたしました。

配付した花苗を基調として牛舎周囲に咲いた草花、花木の写真(L版4枚)をご準備いただき、平成30年12月21日(金)まで事務局へ提出をお願いします。

表彰式、研修会は3月頃を予定し、豪華賞品を準備いたしますので、コンクールに多数ご参加下さるようよろしくお願いいたします。



平成29年度 畜舎環境美化コンクール作品

# 子育て応援団すこやか2018に出展!!

宮城県牛乳普及協会

10月20日(土)、21日(日)にセキスイハイムスーパーアリーナ(グランディ 21)にて“子育て応援団すこやか2018”が開催されました。晴天に恵まれ約2万3千人の来場者で賑わいました。

今イベントは子育てを行う親御さんや、小さいお子さんをメインとしたものとなっており、牛乳を試飲していただくだけではなく、牛の乳搾り体験コーナー、バター作り体験コーナーと、食育を通して、牛乳・乳製品のことをもっと知っていただこうと様々なコーナーを展開しました。また、動物ふれあいコーナーを設け、小動物と触れ合い、ポニー乗馬体験も実施いたしました。

イベントを通して、牛乳・乳製品を摂ることの大切さや、牛から搾られた乳が皆さんの飲んでいる牛乳となり、その牛乳を使ってバターなどの乳製品ができるということ、来場されたお客さんに知っていただき、たくさんの子供達の笑顔が溢れるイベントとなり、大いに盛り上がった2日間となりました。



# 牛乳・乳製品利用料理コンクール宮城県大会

宮城県牛乳普及協会

10月23日(火)エル・パーク仙台において、今年で39回目となる平成30年度牛乳・乳製品利用料理コンクールを開催いたしました。

家庭で手軽に作れる牛乳乳製品を使ったオリジナルレシピを募集し、牛乳乳製品に関心を持っていただき、料理に幅広く使用していただくことで消費拡大を図りました。

応募者数59名の中から、書類審査を通過した10名の方に実際に調理していただき、牛乳乳製品の活用法、手際、味で審査を行い、最優秀賞には小野寺彩さん(高校生)の「米粉抹茶グラタン」が選ばれました。

今回、最優秀賞に選ばれた小野寺彩さんと、優秀賞に選ばれた鈴木いく子さん(会社員)の「滋養たっぷり白マーボー茄子」は11月10日(土)に宮城調理製菓専門学校で開催される東北大会に出場していただきます。

今回出場された方のレシピや大会の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

URL <http://miyagi-milch.jp/>



## 配合飼料、哺育用代用乳

平成30年度第3四半期の配合飼料価格について、主原料のトウモロコシは豊作の見込みであります。大豆については豊作が見込まれることと米中の貿易摩擦により相場は弱含みで推移しております。糟糖類について、グルテンフィードの輸入量の減少や、小麦の消費量の減少からふすまの発生量が減っております。為替相場については、前期と比較して若干の円安傾向です。

一方、哺育用代用乳については、米国、欧州とも猛暑の影響で生乳生産量は減少しており供給余力が減少しております。

以上のことから第3四半期の配合飼料は600円/トンの値下げ、哺育代用乳は9,000円/トンの値上げとなりました。

なお、第2四半期の配合飼料につきまして、平均輸入原料価格が基準輸入原料価格を上回った為、通常価格差補てん金の発動が決定されました。

## 輸入粗飼料

### ①アルファルファ

#### (A)ワシントン産

18年産の収穫は終了しました。1番刈りは雨当りや刈遅れが多く発生、2番刈りは良品が多く、3番刈りは山火事の発生から乾草時間が長くなり色抜け、ブリッジの発生が多くなりました。中東向け輸出の増加や中国の需要回復により価格体は堅調に推移しております。

#### (B)オレゴン産

こちらの産地でも18年産の収穫は終了しております。1番刈りは収穫時の降雨被害から良品は少ない状況でしたが2番3番は天候に恵まれ比較的良品の発生が多くなりました。ワシントン産の1番刈りの影響から価格は堅調に推移しております。

### ②チモシー

#### (A)US産

1番刈り、2番刈りとも収穫時の降雨により良品の発生は限定的となり、中級品以下の発生が多くなりました。中級品以下の品物は韓国からの引き合いが強くなっており今後の動向に注意が必要と思われれます。

#### (B)カナダ産

レスブリッジ地区では収穫時期の天候に恵まれ良品の発生が多く、単収も昨年並みとなっております。クレモナ地区におきましては、収穫時期の悪天候から良品の発生は限定的となっております。米国産の良品が少ないことから国内外から引き合いが強くなり昨年と比較すると価格は大きく値上がりしております。

### ③豪州産オーツヘイ

東豪州、南豪州は共に早魃傾向にあり単収は当初から落ち込むことが予想されておりました。東豪州で例年の半分、南豪州で8割程度と見込まれております。

西豪州におきましては、生育期には十分な降雨があり順調で単収も多くなると見込まれておりました。しかし収穫時の降雨や、降雨による刈遅れが発生し良品の発生は限定的となり、中級品以下の発生が多くなりました。国内外からの需要が増えていることから、価格も大幅に値上がりすると予想されます。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、ご理解いただき引き続きご利用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 五十嵐牧場

### ●牧場の概要(平成30年10月1日現在)

- \*所在地: 栗原市金成
- \*飼養頭数: 約20頭
- \*年間出荷乳量: 約113t
- \*補正乳量: 約11,600kg/頭



**【子牛運搬車】**  
子牛を少ない力ですぐに運搬できるように、市販の一輪車を改造して作製しました。

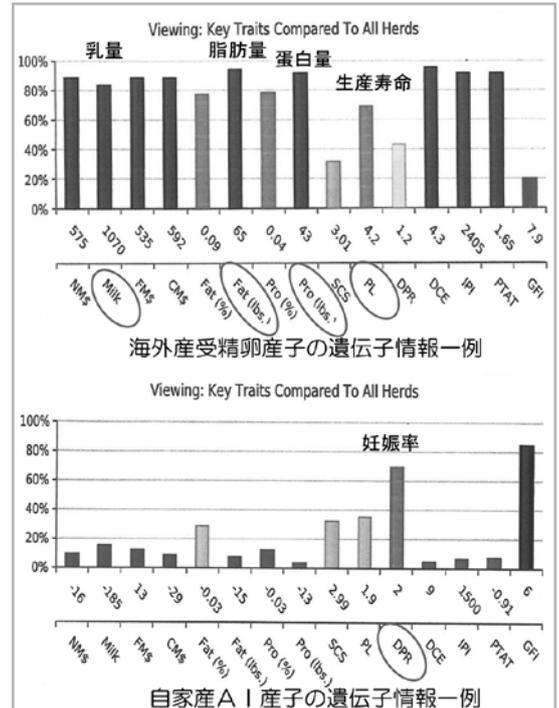
### ●牧場のこだわりと目指すもの

牛を良い状態で長命連産させる管理にこだわっています。

※獣医師による繁殖巡回を毎月受診して、牛に異常がないか定期的に確認を行い、繁殖カレンダーと発情兆候の観察を組み合わせることで適期に授精しています。また、性別別精液や受精卵移植に積極的に取り組み、後継牛の確保や黒毛和種を生産しています。

※繁殖能力や泌乳量など遺伝能力の違いを把握するため、農場で飼養する牛のゲノム解析を実施しています(図1)。海外産と国内産ホルスタインでは、乳量や乳成分などに大きな差が認められ、ゲノム解析の必要性を感じています。牛群検定成績と併せてゲノム解析から得られた遺伝子情報を活用し、より生産性の高い牛群作りを目指しています。

※飼料を購入し、堆肥を有機センターに運搬することで、作業を省力化し、牛の状態確認や発情観察に時間を当てています。繋ぎ牛舎のため、1頭1頭の状態確認をやすく、また、『振り子繋ぎ』(図2)にすることで盗食を防いだことにより、飼料摂取量の過不足で体調を崩す牛が少なくなりました。



【図1】五十嵐牧場で飼養する牛の遺伝子情報

### ●牛群検定の活用

検定成績は、まず体細胞や乳量、乳成分をチェックし、異常の有無を確認しています。異常がある牛は、飼料摂取量や飲水量、ストレスを感じているのかなど牛の様子を観察し、改善策を講じた上で、値に改善が見られなければ獣医師による受診を実施します。

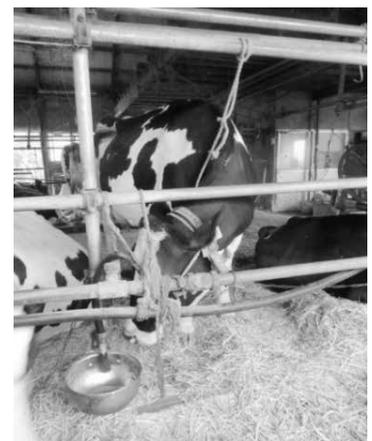
また、検定成績ではボディコンディションスコアやMUN値を確認することで、飼料摂取量だけではなく、きちんと消化できているのかなどを確認しています。

検定成績の活用により、牛群全体の成績だけでなく、個体ごとの詳細な成績を年間を通じて比較検討できるため、以前の成績との比較や、いつ、何をしたときに異常が発生し、改善したのかを把握することができます。

### ●牧場から一言

牛群検定成績には様々な情報が含まれています。そこから必要な情報を読み取る力が必要になるため、自分から積極的に研修会に参加したり、資料を読むことで勉強していく必要があると考えられます。

勉強していくうえで得られた知識から、先進事例に取組み、良い結果を出せたかどうかの判断基準にも検定成績を活用することができるため、積極的に活用していきたいと思えます。



【図2】振り子繋ぎ

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。  
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- ・宮城県ホルスタイン協会 ((一社) 宮城県畜産協会内) Tel: 022-298-9750
- ・県南乳用牛群改良組合 ((一社) 宮城県畜産協会仙南事業所内) Tel: 0224-52-2523
- ・県北乳用牛群改良組合 ((一社) 宮城県畜産協会中央事業所内) Tel: 0229-34-3304

## ＝ 子牛の寒冷ストレス ＝

お世話になっております。朝、布団から出ることが辛い季節になって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。暑熱に弱い親牛は、冬場は真夏に比べ比較的問題なく過ごすことができる一方、気に掛かるのは子牛の体調です。子牛にとって快適な温度は20℃と言われています。その為、子牛にとっての寒冷ストレスは始まってきています。これから寒さが一段と厳しくなる前に改めて子牛の寒冷対策についてご紹介させていただきます。

### ● なぜ子牛は寒さに弱い

子牛は、ほとんど体脂肪を持って生まれてきません。人間の赤ちゃんが体脂肪16%程度であるのに対し、牛の赤ちゃんは、3～4%程度と非常に少なく、出生時に体に蓄えたエネルギーが少ないのが特徴的です。また、被毛も薄くて細く、体表面が広い為、特に体が冷えやすいのです。

### ● 出生時の管理

子牛の健康な発育は出生時の管理から枝分かれしていきます。寒冷ストレスを受ける季節では尚更その重要性は増してきます。その為、「出生直後の管理」をおさらいしましょう！

- ① 生後速やかに子牛を母牛から離し衛生的な場所に移す（母子の同居時間が長い程、下痢などの事故が増加）
- ② 速やかに子牛の体を乾燥させる
- ③ 臍を希ヨードチンキで消毒、落下するまで朝夕2回 塗布（またはスプレー）
- ④ 第1回目の初乳給与は生後30分以内に2リットルを目標に給与
- ⑤ 初乳は飲めるだけ飲ませる（粉末初乳でも同様）
- ⑥ 逆子などの難産で生まれた子牛は清潔な場所で2～3時間休ませてから給与  
ただし6時間以上待たないこと！（強制投与）
- ⑦ 第2回目の初乳給与は生後6時間以内に1～2リットルを追加給与
- ⑧ 生後24時間以内に総合計で5～6リットルの初乳を数回に分けて給与する
- ⑨ 生後6時間以内にどれだけ多く飲めるかが勝負！

### ☆おさらいしましょう☆ 出生直後の子牛に必要な事5カ条



【グッドスタートプレミアム（全酪連）】

※体脂肪（エネルギー）が少なく、体の冷えやすい子牛にとって初乳は大切なエネルギー源です！上記の時間・量を十分に意識して給与して下さい。初乳が十分に確保できない場合は、粉末初乳の利用をお勧めします。

## ● 子牛の寒冷対策

寒冷時は体が冷えやすく、且つ、体温を維持するために平温時（20℃）より多くのエネルギーを消費します。よって寒冷対策としては、①体を冷やさないこと（環境面）、②寒さで奪われる分のエネルギーを考慮すること（栄養面）の2点が挙げられます。それぞれのポイントをご紹介します。

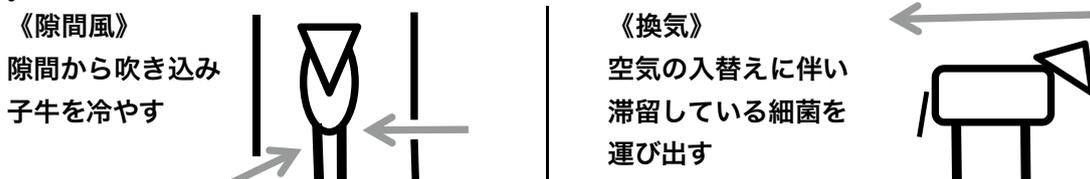
### ～体を冷やさない・保温を心掛ける～

#### ①牛体・牛床は常に乾燥した状態を保つ

- ・体が濡れていると気化熱で体温を奪われてしまいます。敷料の交換はこまめに行いましょう。交換が難しい場合は上から足す等、子牛が濡れないことを心がけていただければと思います。

#### ②隙間風を当てない

- ・隙間風は子牛の体温を奪います。ハッチやペンに隙間風が吹き込んでいないか注意してみてください。
- ・ただし、隙間風と換気は異なります！換気は、空気中の細菌数を減らすために必要です。換気が不十分だと疾病になるリスクが高くなります（特に呼吸器系）。晴れた日の日中等、比較的暖かい時間には換気を行ってください。



#### ③気温の低下から身を守るようにする

- ・子牛がうずくまり、巣ごもりできる程度敷料を入れましょう。細断したワラがおすすめです。

《参考：巣作りスコア》 ※スコアが3に近づくほど良いとされています

スコア1	子牛が肢を露出して敷料に横たわる
スコア2	子牛はいくらか敷料に埋もれているが、肢の一部が敷料の上に出ている
スコア3	子牛が敷料に埋もれていて、肢が見えない

- ・敷料の確保が困難で、十分な量を使用できない場合、子牛用ジャケットやヒーターを利用しましょう



【モーベスト（全酪連）】



### ～寒さで奪われるエネルギーを考慮する～

①哺乳量を10～20%割増しにすると良いです。ただし、上記の寒さへの対策を講じないと発育の鈍化のみでなく、下痢や風邪に罹患する危険があります。

今回も最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。  
しっかりと冬支度をし、寒冷ストレスに負けない元気ハツラツ子牛を目指しましょう！

情報提供先・全酪連仙台支所

# 平成30年度 生乳生産実績

販売課

## 宮城県(販売乳量)

4月～9月の受託乳量は56,419ト、前年同期比96.9%と3.1%の減少となっております。また、9月の出荷戸数は485戸と前年より27戸減少しております。

### 平成30年度 宮城県生乳受託販売実績

(単位:ト、%)

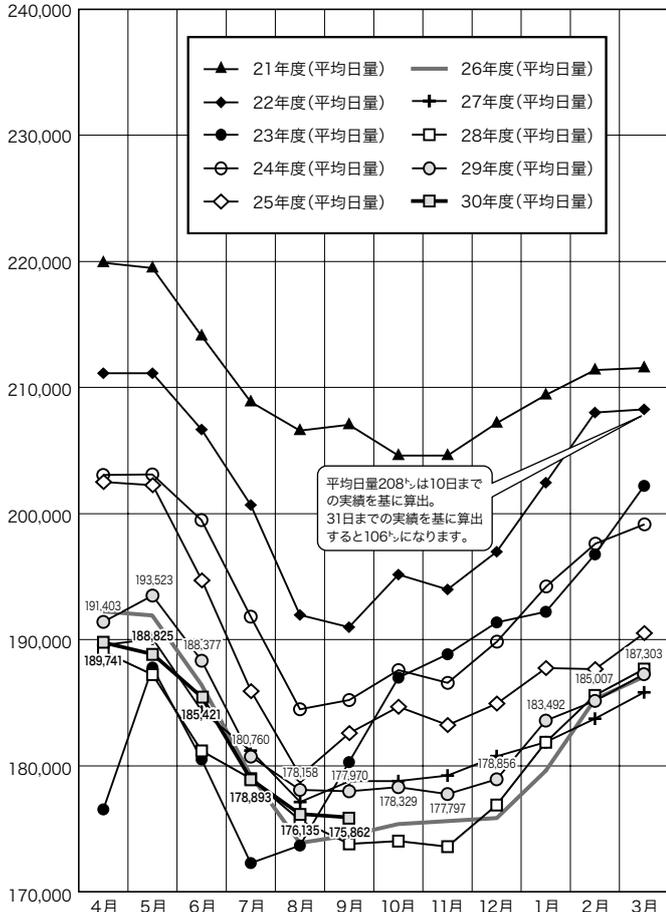
団体名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4～9月計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
みやぎの酪農	5,706	100.7	5,821	96.2	5,516	98.6	5,503	98.3	5,507	98.7	5,250	99.9	33,303	98.7
全農宮城	1,478	98.0	1,530	98.1	1,438	97.4	1,428	97.4	1,393	97.0	1,335	95.4	8,602	97.3
宮城酪農	2,513	94.2	2,579	93.1	2,416	93.0	2,394	92.8	2,337	91.8	2,275	93.1	14,514	93.0
宮 城 県	9,697	98.5	9,930	95.7	9,370	96.9	9,325	96.7	9,237	96.6	8,860	97.4	56,419	96.9

## みやぎの(バルク乳量)

4月～9月の受託乳量は33,390ト、前年同期比98.6%と1.4%の減少となっております。また、9月の出荷戸数は275戸と前年より15戸減少しております。

### みやぎの酪農乳量(平均日量)

生産量(kg)



### 平成30年度生乳生産実績(4月～9月 標準進捗率50.14%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	3,320,077.4	3,286,412.3	101.02	6,564,964.0	50.57
七ヶ宿支部	6	1,268,306.2	1,227,058.8	103.36	2,480,947.0	51.12
蔵王支部	25	4,275,888.3	4,051,600.1	105.54	8,313,486.0	51.43
柴田支部	17	2,103,750.4	2,113,015.0	99.56	4,167,393.0	50.48
角田支部	7	1,049,588.0	1,117,756.0	93.90	2,200,642.0	47.69
丸森支部	13	1,575,839.2	1,636,504.1	96.29	3,215,480.0	49.01
仙台支部	12	1,920,509.1	1,894,562.0	101.37	3,753,861.0	51.16
名取支部	6	476,372.0	439,939.0	108.28	916,535.0	51.98
黒川支部	6	592,445.0	669,166.0	88.53	1,217,739.0	48.65
大崎支部	19	1,763,230.0	1,789,343.0	98.54	3,497,216.0	50.42
遠田支部	16	3,158,950.0	3,064,680.0	103.08	5,983,151.0	52.80
加美支部	19	1,366,612.0	1,456,720.0	93.81	2,677,853.0	51.03
鳴子支部	12	1,071,974.0	1,078,734.0	99.37	2,191,421.0	48.92
一迫支部	12	1,563,626.0	1,537,081.0	101.73	3,066,957.0	50.98
築館支部	14	955,514.0	1,109,583.0	86.11	2,137,794.0	44.70
瀬峰支部	7	582,895.0	642,638.0	90.70	1,276,473.0	45.66
迫支部	12	2,144,597.0	2,340,687.0	91.62	4,457,248.0	48.11
中田支部	8	801,402.0	780,049.0	102.74	1,598,876.0	50.12
東和支部	7	614,615.0	628,912.0	97.73	1,217,732.0	50.47
志津川支部	9	681,127.0	703,481.0	96.82	1,428,906.0	47.67
本吉支部	8	418,071.0	533,758.0	78.33	904,453.0	46.22
石巻支部	6	511,169.0	546,722.0	93.50	1,079,426.0	47.36
豊里支部	12	1,173,633.0	1,209,750.0	97.01	2,398,447.0	48.93
みやぎの酪農	275	33,390,190.6	33,858,151.3	98.62	66,747,000.0	50.03

※出荷戸数については、直近の数字です。

# 宮城県酪農動向調査について

指導課

平成30年8月1日現在の宮城県酪農動向調査結果をご報告します。

当組合においては生乳出荷戸数276戸、乳牛飼養頭数は11,218頭、1戸当たりの平均飼養頭数は40.6頭となっております。

1年前と比較すると、生乳出荷戸数で15戸が減少しておりますが、1戸当たりの平均飼養頭数は2頭増(平成29年8月1日 38.6頭)となっております。

(単位:戸・頭)

組合名	平成30年8月1日						平成29年8月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農 仙南支所	108	5,613	3,133	435	613	1,432	110	5,513	3,028	486	670	1,329	-2	100	105	-51	-57	103
みやぎの酪農 本所	123	4,190	2,705	451	339	695	132	4,244	2,813	420	393	618	-9	-54	-108	31	-54	77
みやぎの酪農 登米事業所	45	1,415	969	168	74	204	49	1,462	1,042	140	103	177	-4	-47	-73	28	-29	27
みやぎの酪農(計)	276	11,218	6,807	1,054	1,026	2,331	291	11,219	6,883	1,046	1,166	2,124	-15	-1	-76	8	-140	207
全農宮城県本部	79	2,760	1,811	255	329	365	83	2,743	1,839	285	323	296	-4	17	-28	-30	6	69
宮城酪農	132	4,877	3,016	533	411	917	141	5,163	3,239	526	530	868	-9	-286	-223	7	-119	49
合計	487	18,855	11,634	1,842	1,766	3,613	515	19,125	11,961	1,857	2,019	3,288	-28	-270	-327	-15	-253	325

## 理事会通信

総務課

### 【第6回理事会】

開催日 平成30年9月28日

付議事項 第1号議案 総務委員会に対する諮問について

第2号議案 業務委員会に対する諮問について

第3号議案 役員研修の実施について

### 【第7回理事会】

開催日 平成30年10月31日

付議事項 第1号議案 平成30年度上半期決算について

第2号議案 北海道胆振東部地震他災害等に係る義援金の支出について

○販売情報○

【機 械】



**マニュアルスプレッター**  
 ・メーカー／IHIスター      ・積 載 量 / 1,800kg  
 ・価 格 / 150,000円

**バルククーラー**  
 ・メーカー／東北オリオン(株)      ・年 式 / 2010年  
 ・容 量 / 1,000ℓ      ・価 格 / 要相談

【初妊牛】

支 部	販 売 者	分 娩 予 定	授 精 種
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	2月12日	乳用種性判別
蔵 王	小島 一也	3月 5日	乳用種性判別
蔵 王	小島 一也	3月 5日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	3月 7日	交 雑
白 石	阿部 耕太郎	3月12日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	3月13日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	3月25日	乳用種性判別

※価格など詳細につきましては各所指導係までご連絡ください。

**〔農機・自給粗飼料・初妊牛の販売を希望される方の情報もお待ちしております。〕**

## 人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	山中 沙稀	正職員(登用) 総務課 総務係	有期契約職員 総務課 総務係	平成30年10月1日

〔 編 集 後 記 〕

日に日に寒さが厳しくなり冬の訪れを感じる季節となりました。これからの時期に注意したいのが、インフルエンザです。年末に向けて色々忙しい日が続くと思いますが、手洗い・うがい・休息もとりながら健康管理に十分気をつけて過ごしましょう。

発行 .....

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

**みやぎの酪農農業協同組合**

TEL.(0229)34-2311(代表)